

2023年度(令和5年度)
峯 第1号 第40号(復活通巻)
2023年9月30日発行

| | | |
|-----------------|---|-----|
| I.山行 公益事業等 報告 | - | 1~7 |
| II.行事等、報告、案内・連絡 | - | 8、9 |
| III.今後の予定 | - | 10 |

I. 計画山行・個人山行 報告

1. 富士写ヶ岳登山道整備

日時 : 2023年5月27日(土)

メンバー : 樽矢 大幡 大庭 田井 埴崎 堀 藤井あ 7名 他会より応援10名

例年恒例となっている春の富士写ヶ岳の登山道整備が、5月27日(土)行われた。

今回も小松ブルーベル山の会からの応援11名を加え総勢18名で行われた。



〈大内駐車場、作業前の元気な時の記念撮影〉

午前7時30分大内駐車場集合。

グループごとに出発した。

今年の作業予定箇所は火燈山と小倉谷山の中間地点から最低鞍部手前の830mあたりの赤布の目印までである。

現場まで3時間ばかりかかったが、「仕事は大勢の…」の言葉通りで、分散して作業することにより、予定より早めに仕事を終わることが出来た。

風もなく暑い中での作業で大変だった。

しかし、遅咲きのシャクナゲを見つけて心とむ一時もあった。火燈山から少し下ったあたりまで戻って皆で昼食を摂り、和やかな一時を持つことができた。

その後、小グループに分かれて、気になる部分を刈りながら下山、大内に到着したのは15時頃であった。

参加された皆様ご苦労様でした。



[文：大幡 写真：堀]

2. 富士山 3776m

日時 : 2023年7月18日(火)、19日(水)

メンバー : 樽矢 堀 2名

霊峰富士山登拝 古希の自主練として。

富士山浅間大社に高齢者記帳所があるのを知ったのが、昨年春、令和3年に立山を登った仲間と次は富士山ですねと言う話がでて、それではと富士山の計画を立てるのに調べていたら、数え年70歳以上で高齢者記帳なるものがあり、そういえばNHKのブラタモリでタモリさんも記帳していたような。

その年のシーズン中に記帳すると、年末12月に「富士山高齢登拝者名簿」が浅間大社から本人に送られてくるとのことらしい。

令和2年はコロナ禍で富士山は閉山していて、令和元年の名簿を見ると、名簿記載登拝者1703人 最高齢93歳(女性)また県別にもリストがあり、最多は東京都228名 続いて神奈川県215名 埼玉県127名 静岡県104名 となり 北陸は 富山県10名 石川県10名 福井県2名、、、ちなみに令和4年度は石川県は3名だそうです。 それならと古希の自主練として富士登山ならぬ富士山登拝を目指して昨年7月に仲間と富士宮市集合、ところが入山当日は夜明け前から大雨、、5歳の子供もおり、また殆どが富士山初見参なので、あっさり断念。 中止とした。

今年令和5年も記帳すべく再挑戦として5月から山小屋の予約、前泊の宿の手配など進める。

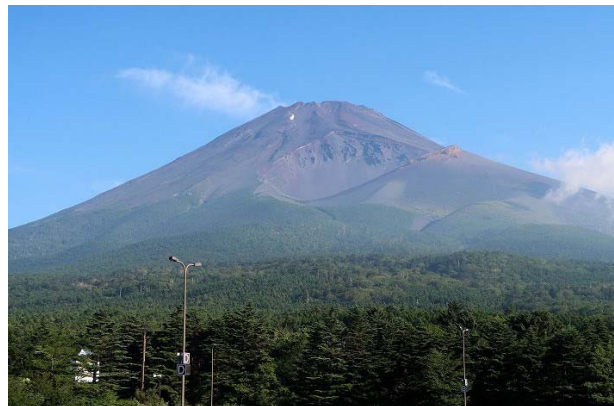
7月17日(海の日) H君と合流して二人で富士宮まで、午後2時過ぎに宿にチェックインして、すぐに歩いて15分ほどの富士山本宮浅間大社へ二人で登拝祈願する。 本殿が重層建築で浅間造と言う事です、初めて見ました。 これで明日は安心して登拝できるとして、宿に戻る。 **〈富士山本宮浅間大社〉**



登拝日 朝6時に宿を出発、富士宮登山口手前の水ヶ塚駐車場へ、平日でもあり駐車場は2割ぐらの車。

バスの切符と富士山保全協力金を収めて、早々に準備などして8時発の5合目行きのバスに乗る、40分ほどで五合目に到着。

〈水ヶ塚駐車場より望む〉



登山口には大きく「やめよう!弾丸登山」の看板と登山計画書提出窓口がある。 もちろん自分たちは事前にコンパスにて提出済み。 登山口の標高2400mの



表示前で記念撮影をすませ、いよいよ登高開始、本日は祈願のおかげで晴れ、少し雲があるが、上空はすっきり晴れている。 富士宮市方面は

雲が隠している。 駿河湾は遠望できる。

ここから先はひたすらに赤茶けた砂礫を一步一步踏みしめて進む、が、6合目を過ぎると次の小屋が見えるが、これがなかなか近づかない、、 元気なH君はどんどん登っていくが、自分はポンコツモードのマイペースで進む。 今夜の宿 9合目万年雪山荘に午後



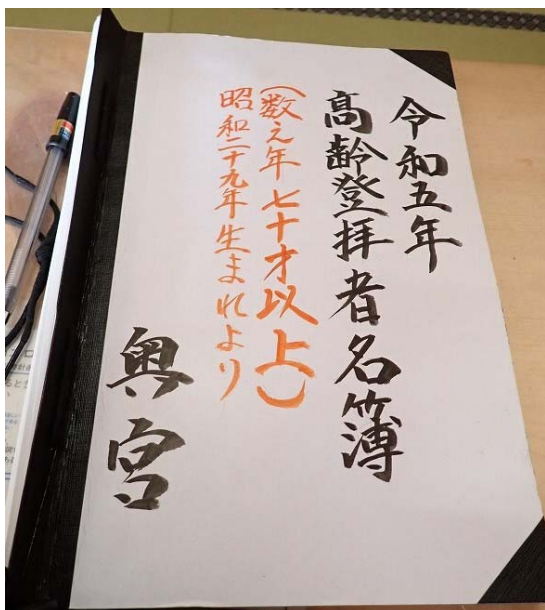
到着、すでにH君は頂上に向かって行ってる、、、 山小屋で受付を済ませ、寝床を確認、一畳に二人。。。 まあそこそこ快適かな。

不要なものを置いて、再度頂上へ向かうが、H君の姿は見えず・・・ 鳥居をくぐる直前で下ってくるH君と出会う、相当頂上で待っていてもらったようで、なかなか来ないので下山開始したとのこと。 すまない。



鳥居をくぐり頂上奥社へ到着した。第何波かの登山者は既に下山したようで、神社前の広場には数人しかいない。

念願の「高齢者参拝名簿」に住所氏名を記帳し、お神酒を戴く、また記念品の扇も戴く。



お神酒を戴いた盃は神職によると、頂上火口に投げ入れると、御利益があるそうで持ち帰らずに奥宮裏の火口に向かって投げ入れた。これで少なくとも下山中は安心か。小屋でH君が待っているの、記念撮影もそこそこに小屋に下山開始。この頃から下界は雲の中、時折、下の雲の中から稲妻の光とゴロゴロが聞こえる、、、。歌と同じだ！と「♪ふーじーはにーほんいちのやまー♪」と口ずさびながら九合目の小屋戻る。段々と風が強くなってきて、明日のご来光は期待できなさそう。。帰りの行程もあるので、強風の中の修行登山はやめにして、明日は明るくなったら朝食を食べて早々に下山とすることにした。

ゆっくり起床、既に頂上へ向かう修行登山者たちは出発したようで、宿は静か、。

早々に食事を済ませ、ヘルメットを着用しての下山とする。さすがに小屋の外は寒い！知り合いの書道家さんの登拝Tシャツを着て写真1枚撮るのも、震えるぐらい。下り始めて、途中で太陽が影富士を作ってくれた。H君にだいぶ遅れて五合目に到着、九合目からきっかり2時間での下山。

車まで戻って見上げると、富士山は大きいなあと感じる。さすが富士山、気を抜けない山でした。

20年前に娘と登った時より少しは楽ちんだったような気がしますが、これで冬季2回、夏2回となりました。さて次回はいつになりますか、。

次回はお鉢巡りも、2度目の高齢者記帳も課題として残しておきます。付き合ってくれたH君に大感謝です。

[文：樽矢 写真：樽矢・堀]

3. 大笠山 1822m

日時 : 2023年8月11日(金)

メンバー : 池本 安田 2名

猛暑日続く11日【山の日】に、会仲間安田さんを誘い大笠山に入った。

糞暑い時に、何を好き好んでそこへと知っている人なら誰しもが首をかしげる山です。

安田さんには計画段階から宣言、過酷な山です。

山頂までは白山と同じ距離が有り、1822mと低いだけ暑さがもろに来ます、「天ノ又」1552m地点まで眺望なし高度差1200mひたすら登るだけ、目的はこの歳で、今の自分たちが持つ気力体力を知ることが一番で、こんな山もあるのかと楽しめれば意味が有ります。



春秋が適期、最近は入山者も少ない所です。

事実、登山道は手が入ったとは思えない状態で灌木生い茂り、6ヶ所に設置されているはずの道標も草に隠れ②がたまたま腰を下ろした脇にあるのを見た。

ギブアップ有り行ける所まで、それでも達成感を感じられればやった意味があります。

槍ヶ岳登山は、どのコースを取っても楽な山では有りません。山を知っている貴方に生意気なことを言うようですが、しばらく登っていない、それでもやりたいと思われるなら今の体力・気力の切れる所がどのあたりか自身思い知り、身体の準備をすることが大事です。



大言壮語しての入山でしたが、想像以上の過酷さでした。自分は5回目になる山ですが、歳と共にきつさを思い知る山です。梯子に鎖、細尾根、急登・・・、此処で事故つたらと、彼を誘ったことを歩きながら何度か後悔しました、天ノ又まで辿り着きようやく見えた「大笠山」、間に入る3つのピークを見て(この場所で予定時間を1時間超過、下山時間を考えると)これ以上進む無謀さに引き返すことを告げ下山しました。

結果として、30分ごとに取った休憩と飲水、塩飴が体力を維持させたのではないかな。

安田さんは強い、心から敬意を表します。

登山口に戻り互いの健闘を讃え握手を交わした。

[文 : 池本 写真 : 池本・安田]

4. 瑞牆山 2230m

日時 : 2023年8月22日(火)、23日(水)

メンバー : 堀 藤井あ 2名

天候不良、テント場の水不足により予定していた山行を変更し、瑞牆山へ。今回は、途中のカンマンボロンを訪ねるプチバリエーションルート、金沢から山梨へ、日帰りでの山行は厳しいため、登山口近くのみずがき自然公園キャンプ場にてテント泊。安房経由にて、山梨へ。8時過ぎにキャンプ場に到着。この時点でまだ瑞牆山は見えていたが、次第にガスがかかってきた。



〈瑞牆山〉

〈登山口、案内板が倒れて朽ちている〉



9時にチェックインし、登山スタート。

林道を少し歩き、登山口へ。

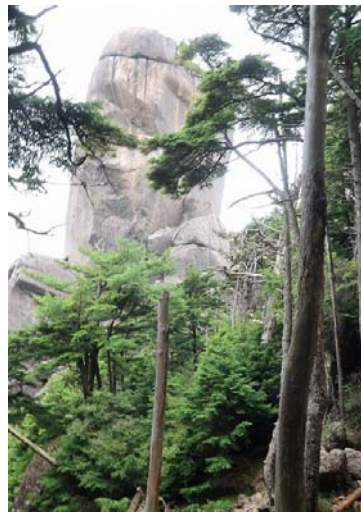
マルバダケブキの群生を眺め、段々と急に。ピンクリボンとGPSの地図を確認しながら進む。

途中で霧雨。カンマンボロンは次回にして先へ。

樹林帯なので雨は気にならなかったが、湿度が高く暑さで息苦しい。鎖場到着。途中、岩が濡れていて、なかなか登れず引っ張ってもらう。申し訳ない気持ちでいっぱいであった。急登を登り切ると展望台。

ただ、今日は全く見えず。

天気のよい日は富士山が見えるとのこと。



〈瑞牆山のシンボル
大ヤスリ岩〉

大やすり岩を巻くように進むと正規ルートに合流、ここでやっとクライング以外の登山者に出会う。

ここから約30分あと一登り。

山頂に到着したが、雨が降ったり止んだり、ガスで展望はなし。



下山は不動滝コースか、一気に下ります。

不明瞭な場所、苔むした水分含んだ森、長年の浸食でなんとも趣ある不動滝、名前が付いた岩があったりとなかなかのコースでした。

〈不動滝〉



次回は、今回は見られなかったカンマンボロンと金峰山の縦走にチャレンジしたい。

[文：藤井あ 写真：藤井あ・堀]

5. 第36回 日本山岳会 全国支部懇親会 【近くて良い山「谷川岳」にっとう】

日時 : 2023年9月23日(土)、24日(土)

メンバー : 堀 1名

第36回全国支部懇談会に参加してきた。

今回は主催が群馬支部で【近くて良い山「谷川岳」にっとう】とのお題で水上温泉で懇親会、翌日は一ノ倉沢までトレッキング、元岩屋の自分としては「谷川岳・一ノ倉沢」でセンサーが反応した。石川支部で何方も申込が無ければ行こうかなと思っていたが、幸いにも支部でHさん、Dさん2名の申込を頂いた。

群馬支部に申し込みと参加費の振り込みを済ませて最終確認の連絡を受け取り変更無しで連絡行った後、Hさんが都合が付かなくなってしまった。

既に参加費を振り込んでいるのでキャンセル料が発生してしまうので自分も”H”なのでHさんの代理で参加することにした。そろそろDさんと水上温泉までの道中の相談をしようとしたところ、なんと直前でDさんも不参加、、理由は本人にお聞き下さい。。

当日は集合場所である谷川岳インフォメーションセンターからの送迎バスが14:30に出発するとのことで14:00着を目処に金沢を出発。高速をハイペースで飛ばし5時間、到着、送迎バスに間に合った。

宿泊・懇親会会場の坐山(ざざん)みなかみ(旧水上館)に到着すると受付は大混雑、4年ぶりの開催とのことで参加者160名程とのこと。受付を済ませて部屋に、北海道支部の3名の方と同部屋。北海道から来られているのもう一泊して谷川岳に登られるとのこと、副支部長のTさんは黒部下ノ廊下～立山～劔岳～木曾駒ヶ岳の沢～谷川岳近辺の沢をテン泊で登り、公共交通機関で移動とのこと、靴も登山靴・沢靴・トレッキングシューズと大荷物70Lのザック?パンパンでした。

谷川岳警備隊

谷川岳は、標高1,977メートルの山ですが、日本三大岩壁に数えられる急峻な岩場や、気象の変化の激しい山として知られ、戦後復興期における登山ブームにより多くの登山者が訪れ、遭難による死者が増加した。警察では、多発する遭難救助を行うには通常体制の下では限界があったため、昭和33年4月に遭難事故防止と遭難者の救助を主たる任務とする谷川岳警備隊が設置され、今年で65年目になる。

遭難発生状況

令和5年8月31日現在

谷川岳山系 19件

死者1名、重軽傷6名、無事18名

その他沼田署管内の山 43件

尾瀬25件、日光白根山7件、武尊山7件、その他4件

合計62件の山岳遭難が発生している。

懇親会に先立ち、群馬県警察谷川岳警備隊長 伊藤氏による「今、谷川岳で考える安全登山」という講演会が行われた。

その中で気になったところをピックアップしました。令和5年8月31日時点で谷川岳山系だけで19件、沼田署管内では

43件、合計62件もの遭難が発生しているとのこと。谷川岳は1,977mと標高では高くは無いがその地形的気象的に厳しい山域であり事故が多い。谷川岳警備隊のお世話にならないように気を付けましょう。。

講演会後は懇親会に移り全国各支部から持ち込まれた美味しいお酒を堪能した。



石川支部はもちろん「白山」純米大吟醸を持参した。

群馬支部は気合いが入っており群馬の「山」の名前が付いているお酒を全て用意された。

翌日は参加者ほぼ全員(150名!?)で一ノ倉沢の出合までトレッキング。大岩壁を眺めて昔の思い出に耽ってきました。 <一ノ倉沢出合>



谷川岳の紅葉も素晴らしいとのこと、一ノ倉沢の大岩壁と紅葉、ぜひ見てみたい、稜線に降雪した3段紅葉も良いかも、近々に再訪決定です。

群馬支部の方々、お世話になりました。

なお、来年令和6年は神奈川支部が主催とのこと、丹沢山系の山行と絡めて参加できれば良いと思います。

[文・写真:堀]

6. ココヘリ遭難事案出動 甲武信ヶ岳 山梨県側 西沢渓谷

日時 : 2023年9月20日(水)

メンバー : 堀 1名

9月20日、ココヘリ遭難事案で出動してきました。
19日の夕方18:00にココヘリより出動要請の連絡。
甲武信ヶ岳で事案発生、本州北部は天候が悪く金沢も松本もヘリが飛べないので京都のヘリで静岡にて給油の後、現地へ向かうとのこと。

ココヘリ受信機・スマホ・GPS・モバイルバッテリーなど捜索に必要な機器を揃えて充電。

充電中にネットで甲武信ヶ岳及び捜索範囲である山梨県側の地図、ルート図や登山情報を集め頭に入れる。

20日は京都のヘリポートを07:00離陸予定、飛ぶ前にミーティングも行うので06:00に着ける様02:00金沢を出発、深夜のドライブで間に合った。

しばらくしてパイロットの方、整備士の方、ココヘリの方が揃い、ミーティング。

パイロットの方、整備士の方は天候チェックや飛行ルートの確認、ココヘリの方と自分は器材と捜索範囲の確認、その後07:00過ぎに離陸。



京都から鈴鹿山脈を越え、右手に鈴鹿サーキットを見て鈴鹿・四日市工業地帯上空からセントレア空港へ、空港周辺空域は他の航空機のトラフィックがあるので高度と方向を指示されしばらく上空待機、管制から通過OKが出て次は浜名湖上空から静岡ヘリポートへ、給油の為に着陸、給油待ち。

そこへココヘリより連絡、山梨県警から北岳でも事案が発生しているが天候が悪いので先に甲武信ヶ岳に山梨県警のヘリと地上隊を向かわせるとのことで、ココヘリは静岡で待機となった。

待機しているとココヘリより見つかったとの連絡、山梨県警の捜索で見つかり一人は存命救助されたが残念ながらお一人は亡くなられたとのこと。

ココヘリより京都へ帰投指示、パイロットの方と情報共有し帰投のため09:30離陸。



帰路は海側コースでは無く刈谷市・豊田市・名古屋市・名古屋港・ナガシマスパーランド上空から右手に御在所岳を見ながら鈴鹿山脈を越えて京都に帰投。

自分はここから金沢に運転して帰らなければ、02:00出発だったのでほとんど寝ていない。

睡魔に襲われ途中休憩をしながら何とか帰ってきました。

[文・写真：堀]

II. 行事等 報告、その他 案内・連絡

1. 会務報告

- ・三水会 2023年5月17日(水) 19時～21時
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 埴崎 村上 出水 安田 7名
議題 27日実施予定の不惑新道整備の計画と参加者の確認。
8月の上高地山研集会への参加希望者の確認、参加希望者が少ないので本年度は中止としたい。
- ・三水会 2023年6月21日(水) 19時～21時
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 藤井 村上 出水 6名
議題 7月度 8月度は会員各位の夏山山行で参加人数が少ないので中止とします。
- ・三水会 2023年7月 中止
- ・三水会 2023年8月 中止
- ・三水会 2023年9月20日(水) 19時～21時
参加 樽矢支部長 大幡副支部長 堀事務局長 黒崎 村上 藤井あ 出水 長井 8名
議題 皆さんの夏山の写真をプロジェクターで見てもらいました。参加、素材提供ありがとうございました。
山岳古道のHPの一部をネットで閲覧、ただまだ未開示なので皆さんにはもう少しお待ち下さい。
解散後の立ち話で、最近山の歌を歌う機会が無いよねって話が出まして、機会があれば火を囲んでみんなで山の歌を歌う企画も考えたいと思います。
本日新入会員長井さんも参加されました、皆さん宜しくお願いします。

2. 第23回 5支部合同懇親山行開催のご案内_石動山多根道

- ・期日 令和5年11月4日(土曜)、5日(日曜)
 - ・場所 石動山(564m) 多根道 他石動山史跡 (多根道：全国山岳古道120選)
 - ・宿泊 石川県立鹿島少年自然の家
- 支部の申込期間は過ぎていますが申込みを忘れていた等ありましたら事務局まで連絡をお願いします。

3. 第27回 久弥祭開催について

- 10月22日(日) 午前8時より九谷ダム広場にて開催されます。
式典後に富士写ヶ岳に登山される場合は計画書(届)の提出をお願いします。
本年は、深田久弥生誕120年記念行事として、前日の10月21日(土)に「深田久弥と日本百名山」との記念講演も開催されます。
- ・萩原浩司氏(山と溪谷社)の講演と座談会(石川支部 中川顧問登壇)
 - ・令和5年10月21日(土) 13:30～16:00
 - ・加賀市民会館3階ホール
 - ・定員250名ですので各自申し込み・抽選となります。

4. 池本会員 北国新聞への投稿

池本会員が北国新聞の「地鳴り」に投稿され、掲載されました、登山届の重要性を訴求されています。



2023年7月27日北国新聞朝刊に掲載(北国新聞社より支部報掲載了承済み)

5. 入会

1名の方が入会されました、2023年9月の入会です。皆様今後よろしくお願ひします。

- ・長井 久美 (17163)

6. 登山計画書(届)の支部への提出について

石川支部では登山計画書(届)は以下の理由により「コンパス」を推奨しています。

- ・現時点では37の自治体(警察)と連携がされている。YAMAPは17自治体。(2023年9月30日時点)
- ・「ココヘリ」と情報共有がされている。YAMAPはスマートフォンがベース、ココヘリへは2次依頼。
- ・コンパスもYAMAPも提出時に石川支部 isk@jac.or.jp のアドレスにもメールが送信される様に設定をお願いします。ご自身の緊急連絡先(ご家族等)も必ず記載をお願いします。

その上で、コンパスでの計画書の保存や提出時に **印刷** のボタンがあります、ボタンをクリックして計画書を印刷し、**印刷ページのURL** を事務局までメールをお願いします。

もしくは印刷ページをPDFにて印刷したPDFファイルを事務局までメールをお願いします。

- ・YAMAPでの登山計画書(届)もメニューより **印刷用の登山計画書を表示** を行うとブラウザで登山計画書のページが表示されるので、**そのページのURL** を事務局までメールをお願いします。

もしくは印刷ページをPDFにて印刷したPDFファイルを事務局までメールをお願いします。

III. 今後の予定

1. 行事予定

II. 行事等 報告、その他 案内・連絡にもありますが、
10月21日(土) 深田久弥生誕120年記念行事 「深田久弥と日本百名山」記念講演
10月22日(日) 久弥祭 午前8時より九谷ダム広場
11月4日(土)、5日(日) 第23回 5支部合同懇親山行 石動山多根道
となっています。ご都合の付かれる方はご参加下さい。
支部の行事予定に係わらず、山行について三水会などでリクエスト・提案をお願いします。

2. 令和5年度年次晩餐会

令和5年度年次晩餐会のご案内【速報】が本部より来ましたのでご案内します。
速報ですので変更される可能性があります。

[日 時] 令和5年12月2日(土)
[場 所] 京王プラザホテル
[参加費] 20,000円 (JTBの口座に銀行振込)
[入場料] 講演会のみ500円 (晩餐会出席者は無料)
* 講演会のみの方は、11月中旬から申込みを開始します。

出席希望の方は、
来月の会報「山」10月号同封の「令和5年度晩餐会参加費の支払い方法」を
ご確認の上、参加費を11月17日(金)までにお振込ください。

編集後記

新型コロナについて、制限されていたことが緩和され、
各山岳には一気に登山者が押し寄せてきているようです。
それに伴い山岳遭難件数もコロナ前以上に増えている
とのことです。

今シーズンは酷暑の影響もあり各山小屋や水場で水不足
となり、それが原因の遭難も散見されます。
また転倒で頭部を負傷する事案が多く見受けられます、
頭部はヘルメットの着用でかなり保護されます、
ヘルメット着用推奨山域以外でも出来るだけ着用を
お勧めします。

日本山岳会 石川支部報
発行日 2023年(令和5年度)9月30日
発行者 公益社団法人 日本山岳会
支部長 樽矢 導章
TEL/FAX : 076-237-5769
編集者 支部報担当 堀 正春
(事務局) TEL/FAX : 076-248-0175
E-mail isk@jac.or.jp
HP <https://jac-isk.com/index.html>